

ご臨席の皆様  
新入生の皆さん

ドイツ連邦共和国大使館を代表して、獨協大学での学びの門出にあたり、心より祝福申し上げます。皆さんはこれまで多くのことを学び、懸命に勉強に励まれ、そして今、晴れてこの大学の入学試験に合格したことを誇ることができるのです。

本日は皆さんにとって、人生の心弾む新たな一章の始まりです。多くの場合、大学で過ごす時間はその後の人生を形作る機会となります。皆さんがここで学ぶことや、出会う友人たちは、長きにわたり人生を導いてくれる羅針盤となるでしょう。ここで身につけるのは、知識のみならず、新たなものを学ぶ能力であり、それは自身の将来のキャリアにおいて大いに役立つものとなるでしょう。

自立の道への最初の第一歩は時として不安なものです。特に現在のような外部環境によって想定外の課題を突き付けられるような状況では尚更です。しかしながら獨協大学での学びを通じて、皆さんはこのような課題も乗り越えてゆくための最高の素養を身につけることができるでしょう。なぜなら獨協大学は単に知識の提供だけを旨としているわけではないからです。創設者である天野貞祐氏の教育理念に基づき、獨協大学は精神的成熟と人格形成の場であります。ここでは自らの責任で行動し、自分を試す環境が整っています。ここで与えられるチャンスと自由を生かしてください。

皆さんは獨協大学という、とりわけ国際的な大学を選びました。16 ヶ国にわたり学術交流協定を締結している大学と、他に例をみないほど多様な外国語教育を通じて、皆さんには異国の文化を肌で感じる機会が与えられているのです。外国滞在が再び支障なくできるようになりましたら、数多くあるドイツの協定大学への留学を是非お勧めしたいと思います。獨協大学はその創立以来、日本の他のどの教育機関よりもドイツと深いつながりがあります。獨協大学のドイツ語学科は日本で最大級であり、最も活発な学科です。毎年開催されるドイツ語弁論大会を主催するドイツ語会話研究会(DUK)もまた、ドイツ語の普及に持続的に取り組んでいるという点で、特筆に価するでしょう。この比肩なき取り組みに対し、ドイツ大使館は深く御礼申し上げます。獨協大学のもつこのような日独の伝統がきっかけとなり、一人でも多くの方がドイツとその文化に興味を抱いてくださることを願っております。

ご多幸と実り多き将来をお祈り申し上げます。

ドイツ連邦共和国大使  
イナ・レーペル